

施工要領書

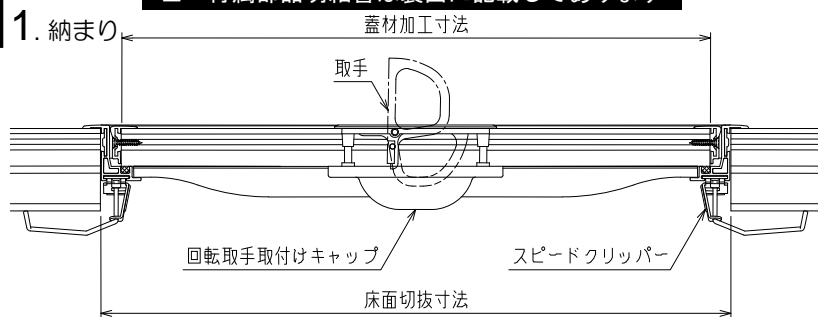


ホーム床点検口 SHW21型・SHF21型

！ 外枠をスピードクリッパーで取付ける場合 <外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合は裏面をご覧ください>

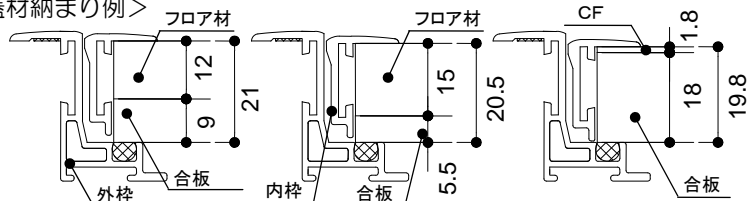
■ 付属部品明細書は裏面に記載してあります

1. 納まり



使用できる蓋材の厚さは19.8~21mmです

<蓋材納まり例>

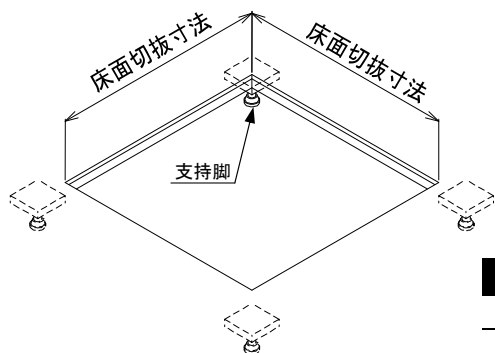


2. 床の開口

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口します。

△ 施工上のお願い

床面は床面切抜寸法通りに開口してください。スピードクリッパーが取り付けできず、強度が不足する場合があります。切抜寸法通りに開口されない場合、点検口が破損するおそれがあります。(切抜寸法の目安許容範囲: +3mm/目安であり製品強度を保証するものではありません) 開口部の四隅には支持脚を設置してください。開口部の強度が不足する場合があります。



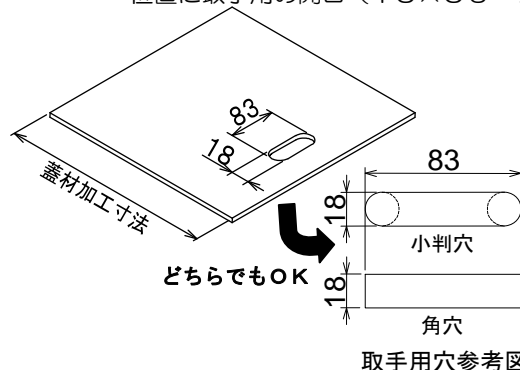
型 式	床面切抜寸法(mm)
30	300×300
4145	410×450
45	450×450
60	600×600

△改築の場合、下面の配管にご注意ください。

△開口部のまわりは、スピードクリッパー取付けの障害にならないように支持脚等を配置してください。

3. 蓋材の加工

①蓋材加工寸法に蓋材(切抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口(18×83・小判穴または長穴)を設けます。



型 式	蓋材加工寸法(mm)
30	277×277
4145	387×427
45	427×427
60	577×577

△ 施工上のお願い

蓋材は蓋材加工寸法通りに切断してください。内枠が変形したり、強度が不足する場合があります。

△厚みは、指定の厚さになるようにしてください。

△板材で継目がある場合は、継目が中央にくるように切断してください。

△ 施工上のお願い

外枠額縁裏面の両面テープについて



■ 外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープは、外枠を最終的に取付ける際に剥離紙をはがしてください。

※剥離紙をはがさずに外枠を取付けると、音なりの原因となる場合があります。



■ 外枠を仮止めする際に、外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープの剥離紙を、はがさないでください。

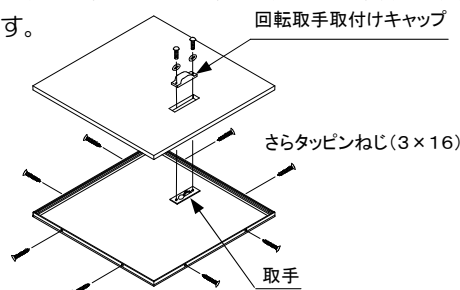
※仮止めの際に剥離紙をはがしてしまうと、仕上げの際に、外枠が外し難くなったり、両面テープの接着力が損なわれる原因となります。

4. 蓋の組立

①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。

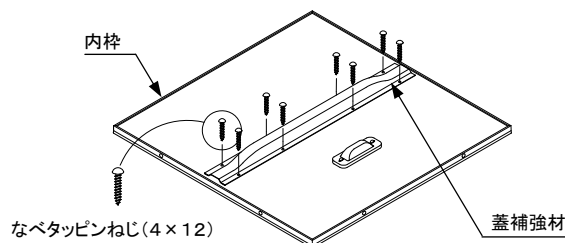
②内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ(3×16)で固定します。

③蓋材になべ小ねじ(M4×20)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



5. 蓋補強材の取付<4145型・45型・60型>

①蓋補強材は、蓋材の裏面に、なべタッピンねじ(4×12)で固定してください。このとき、板の継目と直角になるようにしてください。



△蓋補強材は蓋材の中心にくるように取付けてください(図参照)。

6. 外枠の取付

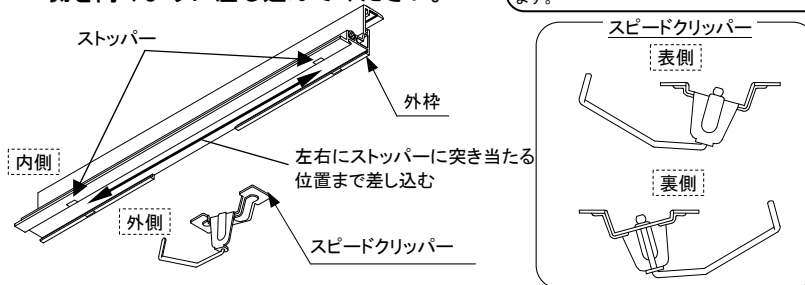
①外枠にスピードクリッパーを外枠外側の挿入口より対向2辺に2個ずつ、外枠の溝のストッパーに突き当たる位置まで差し込みます。

(計4個 ※60型は各辺2個の計8個)

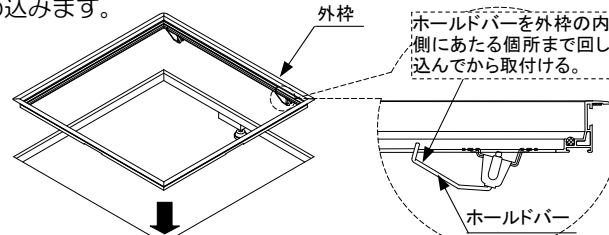
△スピードクリッパーの表側が外枠の内側を向くように差し込んでください。

△ 施工上のお願い

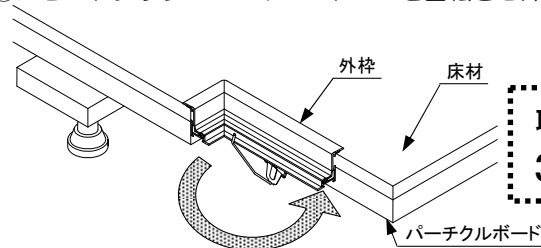
スピードクリッパーは必ず外枠の溝に入れ引っ掛けてください。外枠を保持できない場合があります。



②スピードクリッパーのホルドバーを外枠の内側に当たるまでまわし、外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。



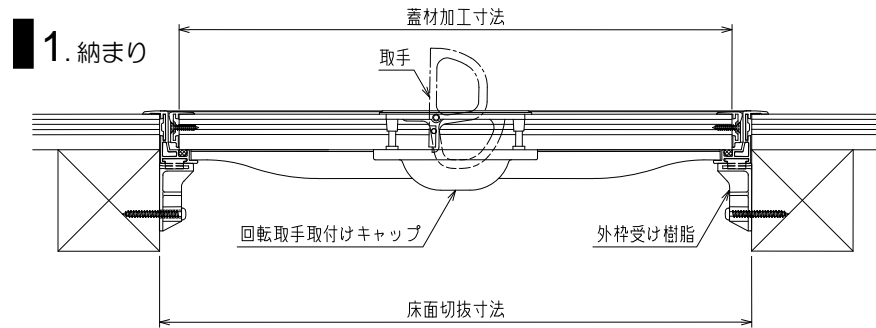
③スピードクリッパーのホルドバーを回転させ外枠を床材に固定します。



取付可能な床の厚さは31~51mmです

- スピードクリッパーの取付位置は外枠の溝のストッパーに突き当たる位置にしてください。(4箇所) ※60型は8箇所
- 額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)が強く押されるように外枠を取り付けてください。気密性が低下する場合があります。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの接着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難なので注意してください。

！ 外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合 <外枠をスピードクリッパーで取付ける場合は裏面をご覧ください>



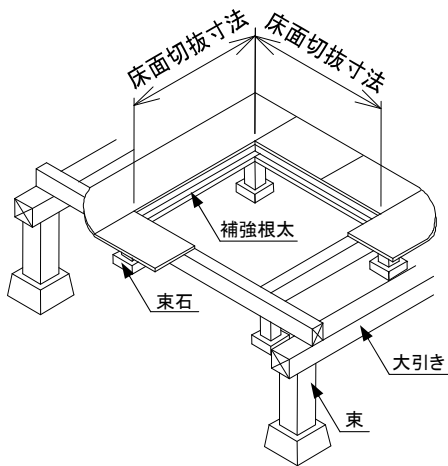
■ 付属部品明細表

付 属 部 品 名	入 数			
	30	4145	45	60
スピードクリッパー	4	4	4	8
外枠受け樹脂	8	8	8	8
なべタッピンねじ(4×35)	8	8	8	8
取手	1	1	1	1
回転取手取付けキャップ	1	1	1	1
なべ小ねじ (M4×20)	2	2	2	2
平座金 (呼び径4)	2	2	2	2
さらタッピンねじ (3×16)	8	8	8	8
蓋補強材	—	1	1	1
なべタッピンねじ (4×12)	—	8	8	8

2. 床組み

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。

△ 施工上のお願い
床面は床面切抜寸法通りに開口してください。強度が不足する場合があります。

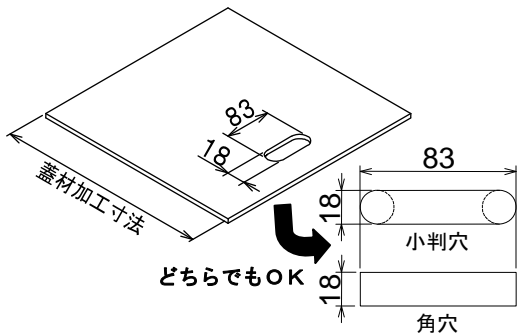


型 式	床面切抜寸法(mm)
30	300×300
4145	410×450
45	450×450
60	600×600

- △床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- △切抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- △改築の場合、下面の配管にご注意ください。

3. 蓋材の加工

①蓋材加工寸法に蓋材(切抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口(18×83・小判穴または長穴)を設けます。



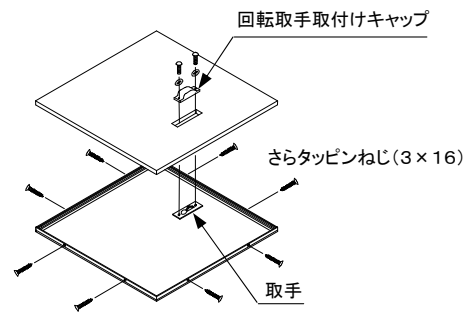
型 式	蓋材加工寸法(mm)
30	277×277
4145	387×427
45	427×427
60	577×577

△ 施工上のお願い
蓋材は蓋材加工寸法通りに切断してください。内枠が変形したり、強度が不足する場合があります。

- △ 厚みは、指定の厚さになるようにしてください。
- △ 板材で継目がある場合は、継目が中央にくるように切断してください。

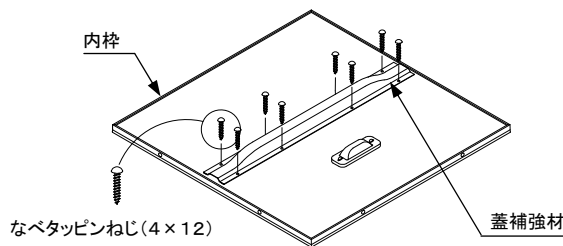
4. 蓋の組立

- ①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。
- ②内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ(3×16)で固定します。
- ③蓋材になべ小ねじ(M4×20)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



5. 蓋補強材の取付<4145型・45型・60型>

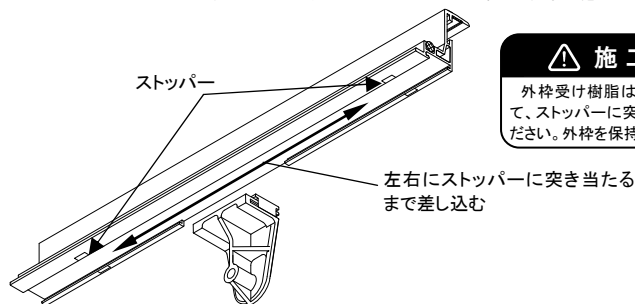
①蓋補強材は、蓋材の裏面に、なべタッピンねじ(4×12)で固定してください。このとき、板の継目と直角になるようにしてください。



△ 蓋補強材は蓋材の中心にくるように取付けてください(図参照)。

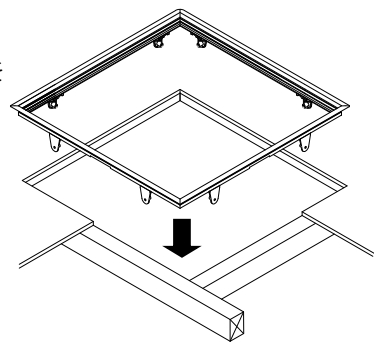
6. 外枠の取付

①外枠に外枠受け樹脂を外枠外側の挿入口より各辺2個、外枠の溝のストッパーに突き当たる位置まで差し込みます。(計8個)

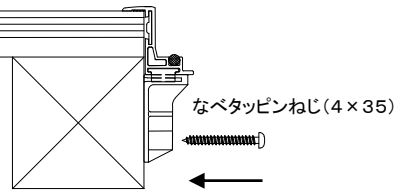


△ 施工上のお願い
外枠受け樹脂は必ず外枠の溝に入れ引っ掛けて、ストッパーに突き当たる位置まで差し込んでください。外枠を保持できない場合があります。

②外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。



③外枠受け樹脂を根太に押し当てて、なべタッピンねじ(4×35)で固定する。(計8ヶ所)



- 額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)が強く押されるように外枠を取り付けてください。気密性が低下する場合があります。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難なので注意してください。

△ 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。